

独立行政法人理化学研究所
横浜研究所 ゲノム医科学研究センター
情報解析研究チーム

宮 冬樹 先生

(平成12年3月理学部生物地球環境科学科卒業)

『全ゲノム解析および再生医療を目指した細胞工学 分野の最新動向と研究現場の実際の活動』

講演概要:

ヒトゲノムのドラフト配列解読宣言が出されてから10年が経った。ゲノム研究はそれ以降も急速に発展し、全ゲノムを対象とした比較進化学研究、SNP解析、発現解析、等が進められいくつかのブレイクスルーと共に新規の膨大な知見が得られた。今後は医学への応用がより求められ、ゲノム研究の重要性は益々高まっていくと考えられる。一方、発生学の分野でも2006年に、ほぼ全ての細胞に分化可能なiPS細胞(人工多能性幹細胞)が作られるというブレイクスルーがあり、再生医療への応用の道が一気に開けてきた。

本講演ではこれら最新のゲノム科学・再生医療の話題を中心に現状の生物医学分野の動向を自身の研究内容を交えつつ話すと共に、実際の現場での研究の行われ方も紹介する。研究者を目指す方だけでなく、他の院生の方にも研究職とはどういう職なのか、そして日本を含め世界の生物医学研究はどこへ向かおうとしているのかの一部を知ってもらえる機会となれば幸いです。

日時:7月15日(木) 午後5時00分～6時30分
場所:理学部B棟B203室

連絡先:理学部生物学教室
塩尻 信義
電話 238-4780(内線4780)
メール sbnshio@ipc.shizuoka.ac.jp